

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年2月13日

【四半期会計期間】 第10期第3四半期(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

【会社名】 株式会社エクストリーム

【英訳名】 EXTREME CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 佐藤 昌平

【本店の所在の場所】 東京都豊島区池袋二丁目51番13号

【電話番号】 03-6673-8535(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理部長 由佐 秀一郎

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区池袋二丁目51番13号

【電話番号】 03-6673-8535(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理部長 由佐 秀一郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第10期 第3四半期 累計期間	第9期
会計期間		自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高	(千円)	1,200,941	1,332,390
経常利益	(千円)	130,077	2,362
四半期純利益又は当期純損失()	(千円)	82,260	27,527
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)	-	-
資本金	(千円)	251,896	100,041
発行済株式総数	(株)	1,129,000	4,466
純資産額	(千円)	664,504	260,249
総資産額	(千円)	1,129,032	610,599
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額()	(円)	92.82	31.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	80.91	-
1株当たり配当額	(円)	-	-
自己資本比率	(%)	58.9	42.6

回次		第10期 第3四半期会計期間
会計期間		自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	38.70

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
4. 第9期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、第9期事業年度末において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
5. 当社は、平成26年12月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、第10期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から第10期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
6. 当社は、平成26年10月15日付で普通株式1株を200株に株式分割しておりますが、第9期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額、1株当たり当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

7. 当社は、第9期第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成しておりませんので、第9期第3四半期累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、平成26年11月21日提出の有価証券届出書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、足元の景況感の停滞から消費増税が見送られ、個人消費の力強さを欠く動きが見られました。一方で、円安進行による輸出環境の改善など企業を取り巻く状況は刻々と変化しており、先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境につきましては、前四半期同様、スマートフォンを中心としたモバイル端末におけるゲーム及びアプリ市場の成長が引き続き著しく、2016年度には国内において8,000億円規模のマーケットに成長すると予想されております（出所：CyberZ/シード・プランニング共同調べ）。また、世界のゲーム市場は、2013年度7.6兆円という実績となりましたが、2017年度には11.6兆円まで成長すると予想されております（出所：フランスIDATE社調査）。

このような状況下、当社はゲームを中心としたエンターテインメント系企業へ向けた人材ソリューション事業及び、パソコン・モバイル機器向けゲームコンテンツの企画・開発・運営を行うコンテンツプロパティ事業を引き続き積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期における売上高は1,200,941千円、営業利益は137,088千円、経常利益は130,077千円、四半期純利益は82,260千円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

ソリューション事業

当事業におきましては、スマートフォンアプリ市場の好調を背景に受注が順調に拡大いたしました。月次稼働プロジェクト数は221（平成26年12月度実績）となり、前年同期比46.3%増となりました。

この結果、売上高は1,036,702千円、セグメント利益は250,658千円となりました。

コンテンツプロパティ事業

当事業におきましては、PCオンラインゲーム「桃色大戦ばいろん・ぶらす」「桃色大戦ばいろん・生」等の既存主力タイトルを中心にサービス展開を行いました。

この結果、売上高は164,239千円、セグメント利益は16,782千円となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、売上高増加に伴う売掛金の増加36,170千円、新規上場に伴う公募増資資金による現金及び預金の増加477,967千円などにより、1,129,032千円となり、前事業年度比518,432千円の増加（前事業年度比84.9%増）となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、長期借入金の減少16,192千円、賞与引当金の減少9,144千円があったものの、未払金の増加31,790千円、未払法人税等の増加49,725千円などにより、464,528千円となり、前事業年度比114,178千円の増加（前事業年度比32.6%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、新規上場に伴う公募増資の実施による資本金の増加151,855千円、資本剰余金の増加165,695千円、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加82,260千円などにより、664,504千円となり、前事業年度比404,254千円の増加（前事業年度比155.3%増）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,572,000
計	3,572,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,129,000	1,166,500	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株であります。 完全議決権株式であり、 権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる 株式であります。
計	1,129,000	1,166,500		

- (注) 1. 当社株式は平成26年12月25日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場しております。
2. 平成26年12月24日を払込期日とする一般募集により、発行済株式総数が235,800株増加しております。
3. 平成27年1月26日を払込期日とする有償第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)により、発行済株式総数が37,500株増加しております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年10月15日 (注) 1	888,734	893,200	-	100,041	-	84,908
平成26年12月24日 (注) 2	235,800	1,129,000	151,855	251,896	151,855	236,763

(注) 1. 平成26年9月24日開催の取締役会決議により、平成26年10月14日を基準日として、平成26年10月15日付で1株を200株に株式分割しております。

2. 有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）

発行価格 1,400円
引受価額 1,288円
資本組入額 151,855千円

3. 平成26年1月26日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により、発行済株式総数が37,500株、資本金及び資本準備金がそれぞれ24,150千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	-		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,129,000	11,290	単元株式数は100株であります。完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式			
発行済株式総数	1,129,000		
総株主の議決権		11,290	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(平成26年10月1日から平成26年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

4. 最初に提出する四半期報告書の記載上の特例

当四半期報告書は、「企業内容等開示ガイドライン24の4の7-6」の規定に準じて前年同四半期との対比は行っておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	355,259	833,226
売掛金	144,595	180,765
製品	613	562
仕掛品	-	3,188
その他	32,817	18,381
貸倒引当金	-	1,704
流動資産合計	533,285	1,034,420
固定資産		
有形固定資産	5,061	11,498
無形固定資産		
ソフトウェア	6,225	4,824
ソフトウェア仮勘定	3,927	11,270
無形固定資産合計	10,153	16,095
投資その他の資産		
投資その他の資産	65,933	70,910
貸倒引当金	3,833	3,892
投資その他の資産合計	62,099	67,018
固定資産合計	77,314	94,611
資産合計	610,599	1,129,032
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
1年内返済予定の長期借入金	24,288	24,288
未払金	104,881	136,672
未払法人税等	491	50,216
賞与引当金	19,701	10,556
その他	34,648	96,147
流動負債合計	191,010	324,881
固定負債		
社債	39,500	36,000
長期借入金	119,839	103,647
固定負債合計	159,339	139,647
負債合計	350,349	464,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,041	251,896
資本剰余金	84,908	250,604
利益剰余金	79,664	161,925
自己株式	4,449	-
株主資本合計	260,165	664,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	84	77
評価・換算差額等合計	84	77
純資産合計	260,249	664,504
負債純資産合計	610,599	1,129,032

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,200,941
売上原価	795,971
売上総利益	404,969
販売費及び一般管理費	267,881
営業利益	137,088
営業外収益	
受取利息	123
為替差益	4,814
助成金収入	1,710
その他	747
営業外収益合計	7,395
営業外費用	
支払利息	1,257
株式公開費用	9,005
株式交付費	3,661
その他	482
営業外費用合計	14,406
経常利益	130,077
税引前四半期純利益	130,077
法人税等	47,816
四半期純利益	82,260

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
減価償却費	6,468千円

(株主資本等関係)

株主資本の著しい変動

当社は、平成26年12月25日付の東京証券取引所マザーズ市場への上場の際し、平成26年12月24日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ151,855千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が251,896千円、資本準備金が236,763千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	ソリューション 事業	コンテンツ プロパティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,036,702	164,239	1,200,941	-	1,200,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,036,702	164,239	1,200,941	-	1,200,941
セグメント利益	250,658	16,782	267,441	130,352	137,088

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	92.82円
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	82,260
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	82,260
普通株式の期中平均株式数(株)	886,273
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	80.91円
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	-
普通株式増加数(株)	130,374
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-

- (注) 1. 当社は、平成26年12月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は、平成26年10月15日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

平成26年11月21日及び平成26年12月8日開催の取締役会において、大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式37,500株の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成27年1月26日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は276,046千円、発行済株式総数は1,166,500株となっております。

発行する株式の種類及び数：普通株式 37,500株

割当価格：1株につき 1,288円

払込金額：1株につき 1,122円

資本組入額：1株につき 644円

資本組入額の総額：24,150千円

割当価額の総額：48,300千円

払込期日：平成27年1月26日

割当先：大和証券株式会社

資金の使途：技術系社員の技術力向上を目的とした研修施設新設のための設備投資及び研修用教材ソフトウェアの購入、新規ゲームタイトル及びIPキャラクター制作に係る開発費用、社内基幹システム拡充に伴うシステム開発資金、過去に実施した運転資金を目的として借入れた金融機関からの長期借入金の返済及び本社移転のための引越費用に充当する予定であります。

また、具体的な支出が発生するまでは安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 2月13日

株式会社エクストリーム
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	轟	芳	英	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	守	谷	徳	行

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エクストリームの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第10期事業年度の第3四半期会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エクストリームの平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。